

中国の文学や思想や歴史を楽しもう

弘前大学 教育学部教授 山田史生

中国の文学というと杜甫や李白という唐代の詩人、あるいは「三国志」「水滸伝」「西遊記」といった章回小説、さらには魯迅や老舎などを浮かべるだろう。中国の思想というと「論語」「孟子」「老子」「荘子」「荀子」「韓非子」「孫子」といった諸子百家の作品を浮かべるだろう。中国の歴史といえば「史記」「十八史略」などを浮かべるだろう。どれもみな読むに値するけれども、じっさい読んだひとは多くないんじゃないかな。まずはこの10冊（といっても「西遊記」なんて文庫本で10冊だけ）から読んでみたらどうだろう。どれもみな抜群に面白いですよ。



中国史 上下

宮崎市定

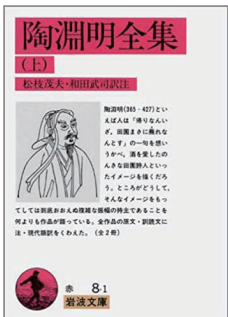
中国史にかんする本はおびただしくあるが、おそらく最も簡にして要を得たものである。専門書という雰囲気がただようけれども、どうかビビらずに読んでほしい。かならず楽しめるとおもう。



阿片戦争 1～3

陳舜臣

アヘン戦争を描いた小説として読んでも無類の面白さなのだが、中国近代史の解説書としても、管見によれば、屈指の好著である。「面白くて為になる」というホントにすばらしい名著である。



陶淵明全集 上下

陶淵明

中国の詩人といえば唐の李白や杜甫をおもうひとが多いだろう。もちろん李白も杜甫もすばらしいんだけど、個人的には陶淵明がいちばん好きである。理由はうまく説明できないんだけど。



水滸伝 1～5

施耐庵

日本では「三国志」のほうが人気があるらしい。しかし読んでみればわかることだが「水滸伝」のほうが断然面白い。なにが面白いって、なにからなにまで圧倒的に面白い。読んでみてください。



西遊記 1～10

呉承恩

完訳本をちゃんと読んだひとは意外とすくないんじゃないだろうか。「西遊記」は幻想文学として出色の出来である。ヒマつぶしという乗りで読んでほしい。翻訳もすばらしい出来であるとおもう。



聊齋志異 上下

蒲松齡

抄訳である。だから柴田天馬の全訳を読んでほしい気もするが、これを読むだけでも怪奇幻想の雰囲気味わうことはできるだろう。じつは全訳しようとおもったこともあるが、面倒だからやめた。



臨濟録

臨濟義玄

中国禅宗における禅語録を代表する一冊。裸一貫の個人として自由に生きるすべを教えてくれる。一読して「わかる」という本ではないが、くりかえし読めば、きっとかけがえのない宝になるだろう。



ワイルド・スワン 上下

ユン・チアン

激動の中国近代を舞台に、清朝末期の祖母の誕生から著者の英国留学にいたるまでの家族の苦難を描いたノンフィクション。文化大革命における知識階層への迫害ぶりを活写して鬼気迫る。



物語として読む全訳論語 決定版

山田史生

東洋の大古典「論語」の解説本としては最も敷居の低い一冊。儒教の聖典なんて堅苦しくてイヤだなあとおもっているひとは、ダメされたとおもって読んでみてほしい。面白いことは保証します。



龐居士の語録 さあこい！禅問答

山田史生

禅問答というとチンプンカンプンな議論の代名詞だが、そのチンプンカンプンぶりを屁理屈を駆使して楽しもうという本。「ああ言えば、こう言う」といった感じの問答には自由の風が吹いている。

弘前大学 教育学部教授

山田史生 (やまだふみお)

北陸の福井に生まれ、東北大学で学び、弘前大学に勤めて三十余年になります。漢文の教師です。妻ひとり、娘ひとり。趣味は囲碁(ただしヘボ)。特技は尺八(ただしヘタ)。酒は好きですが強くはありません。



ハブブックセンター
HACHINOHE BOOK CENTER

〒031-0033 青森県八戸市六日町 16-2 Garden Terrace 1F
TEL 0178-20-8368 FAX 0178-20-8218 web <https://8book.jp/>